

令和6年度「韓哲・まちづくり夢基金」 運用益等活用事業中間報告

令和6年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業中間報告

資料2

No	事業名	分野	担当課	予算額 (基金充当予定額)	執行予定額 (基金充当予定額)
1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	23,467千円 (13,189千円)	23,467千円 (14,286千円)
2	遠隔教育実施事業	教育	教育委員会 学校教育課	340千円 (210千円)	340千円 (210千円)
3	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	18,000千円 (18,000千円)	14,986千円 (14,986千円)
4	SDGs推進事業	教育	市長公室 政策企画課	550千円 (550千円)	550千円 (550千円)
5	高等学校全国募集入学生応援事業	教育	教育委員会 教育総務課	2,040千円 (2,040千円)	2,040千円 (2,040千円)
6	大学等受験料支援事業	教育	教育委員会 教育総務課	2,385千円 (2,385千円)	2,385千円 (2,385千円)
7	第4回京丹後市民陸上記録会	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	300千円 (238千円)	300千円 (238千円)
8	京丹後市文化芸術振興計画及び 文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	5,532千円 (3,367千円)	3,873千円 (2,537千円)
合計				52,619千円 (39,984千円)	47,946千円 (37,237千円)

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	執行予定額 (基金充当予定額)	23,467千円 (14,286千円)
----	----	------	-------------------	--------------------	------------------------


目的 国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。

事業概要・主な経費

- Kyotango English Day 【対象：小学3・4年生】 1千円
10月5日（土）参加人数：30人
言語活動を中心としたCIR・ALTとの英語による交流会（通信運搬費）
- Kyotango English Camp 【対象：小学5・6年生】 230千円（充：116千円）
10月5日（土）・6日（日）1泊2日 参加人数：16人
言語活動を中心としたCIR・ALTとの交流会（通信運搬費、施設使用料等）
- オンライン留学 【対象：中学1年生・高校生】 16千円
10月8日（火）～12月6日（金）参加人数：中学生20人/高校生10人
フィリピンとのオンライン交流を開催。
各家庭での交流に加え、全体研修（開閉会式含む）を6回実施。（通信運搬費）
- 中学生の海外派遣 【対象：中学2年生】 12,368千円（充：7,823千円）
海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校での学校生活を体験
期間：3月8日（土）～16日（日）9日間
派遣先：オーストラリア パース 人数：20人
※渡航費用の3/4を補助金交付（旅費、補助金等）
- 英語力向上アプリの導入（令和4年度～3か年事業） 5,655千円（充：3,748千円）
AIによる英語力向上アプリを市内全中学1～3年生のタブレットに導入
英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりで自信をもてる生徒を育成。授業や家庭学習での活用に加え、夏休みを活用してReading Contestを実施。（ライセンス使用料、旅費等）
- 「Kyotango Sea Labo」の開催（令和4年度～3か年事業） 5,197千円（充：2,599千円）
本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（5日間のワークショップ）を専門機関（海外の大学含む）と連携し実施
（報償金、旅費、委託料） 【対象：中学3年生及び高校2年生】 8月開催 参加人数：35人



成果・課題 それぞれの発達段階に応じたプログラムの提供を実施し、語学の習得だけではなくコミュニケーション能力の向上や異文化理解に繋げることができた。
また、参加者が限定されるプログラムだけでなく、市内全中学1～3年生を対象としたアプリの活用を通し、個別最適な指導及び生徒たちの学びへの意欲向上に資することができた。

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	執行予定額 (基金充当予定額)	340千円 (210千円)
目的	<p>中学校技術科の授業を、高度な専門性を有した専門人材に遠隔地から実施していただくことにより、都市部から離れた本市に居住している生徒たちに、都市部と遜色ない教育環境を作することを目的とする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>○事業概要 技術科の専科教員が配置されていない中学校において、遠隔地から専門性の高い講師による授業を実施することで、より充実した学びを児童生徒に届ける。 技術科の授業において、解決できる問題を見つけ、その問題を解決するための情報収集を行ったり、具体的システムのプログラムを制作することで、これからの時代に必要な探究的な学びを身に付ける。</p> <p>○主な経費 報酬（講師1名）260千円 ・時期：令和6年4月～令和7年2月 ・※技術科「計測・制御のプログラミングによる問題解決」等 18時間</p> <p>費用弁償（講師1名）80千円 ・より効果的な授業を実施するための対面授業に係る交通費等 ・時期：令和7年2月5日</p>			 <p style="text-align: right;">授業の様子</p>	
				<p>成果・課題</p> <p>技術科の教員が配置されていない中学校において、遠隔教育を実施することで、より充実した学びを児童生徒に届けることができた。 機器トラブルや操作方法がわからなくなることがあり、遠隔地からでは対応が難しいため、現場での支援体制が必要である。</p>	

No3 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金

分野	その他	担当部署	市長公室 政策企画課	執行予定額 (基金充当予定額)	14,986千円 (14,986千円)
----	-----	------	---------------	--------------------	------------------------

目的 韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。

4月から5月、8月から9月にかけて企画を公募。応募があった以下の16企画について採択し交付決定した。

No	事業名	提案者	補助金 交付決定額	補助金 交付確定額
①	第20回マルハンカップ学童野球記念大会	峰山少年野球振興会	1,000千円	1,000千円
②	キコリ谷シネマとキコリ谷ピアノ	株式会社SORA	1,000千円	1,000千円
③	子どもたちに食×アートの体験を提供する芸術文化教育事業	あしたの畑実行委員会	1,000千円	1,000千円
④	絵本からの街づくり	実行委員会「久美浜のゆめ」	1,000千円	1,000千円
⑤	ウィーン冬期音楽講習会 参加	永岡 亜紀子	1,000千円	1,000千円
⑥	丹後から能楽師プロジェクト イチから教わる能楽(初級・中級)	たんたんのうのう会	1,000千円	未確定
⑦	「Dr.谷 ひと粒の麦」絵本作成	谷垣医師を支援する会	1,000千円	未確定
⑧	子どもが能を学ぶプロジェクト	丹の国丹能会	1,000千円	未確定
⑨	夜灯りこまねこ狂言会	こまねこまつり実行委員会	420千円	未確定
⑩	丹後活性化プロジェクト	京都府立丹後緑風高等学校	790千円	未確定



韓さんのご子息・哲さんのゆめが刻まれた石碑(峰山総合公園内)

成果・課題

補助金を交付することにより、教育、文化芸術の振興、地域経済の活性化に寄与するとともに、市民の夢の実現を後押しすることができた。

事業概要・主な経費

No3 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金

中間報告様式

分野	その他	担当部署	市長公室 政策企画課	執行予定額 (基金充当予定額)	14,986千円 (14,986千円)
----	-----	------	---------------	--------------------	------------------------

目的 韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。

事業概要・主な経費

No	事業名	提案者	補助金 交付決定額	補助金 交付確定額
⑪	アーティストがあたりまえにいるまち+ (プラス)	寺島 千絵	1,000千円	未確定
⑫	京丹後とカンボジアを繋ぐグローバル人材交流プロジェクト	原 康太郎	1,000千円	1,000千円
⑬	「こまねこ」が未来を担う子供たちへ、ふるさとへの想いを育むプロジェクト	南 正治	1,000千円	1,000千円
⑭	みんなでつくるマップで五箇の自慢を再発見事業	合同会社むすんで ひらいて	996千円	未確定
⑮	カンボジアのスタジアム視察と異文化交流で価値観を広げよう!	KYOTO TANGO QUEENS	1,000千円	未確定
⑯	地域スポーツ振興 モルックイベントの開催	五箇モルックの会	780千円	未確定



韓さんのご子息・哲さんのゆめが刻まれた石碑
(峰山総合公園内)

成果・課題

補助金を交付することにより、教育、文化芸術の振興、地域経済の活性化に寄与するとともに、市民の夢の実現を後押しすることができた。

① 第20回マルハンカップ学童野球記念大会

- 記念野球大会の開催
- 参加チームへのバットとボールの進呈
- 参加チームの中から50名にオリックス戦の観戦を招待する



完了

② キコリ谷シネマとキコリ谷ピアノ

- 11月に開催予定の秋の収穫祭に合わせて、アコースティックな音楽を楽しんでもらえる小さなステージ「キコリ谷ピアノ」をつくる。
- 8月に「旅する映画館・キノイグルー」を招致し、子どもたちに「キコリ谷シネマ」を楽しんでもらう。

完了

③ 子どもたちに食×アートの体験を提供する芸術文化教育事業

- 「あしたの台所」と題し、小学生から中学生を対象に、料理人を招いた料理教室を開催。
- 「あしたの工房」と題し、中学生から大学生を対象に、左官職人を招いた左官ワークショップを開催。



完了

④ 絵本からの街づくり

- アコースティックオーケストラ「パスカルズ」のライブ
- 京丹後市出身の絵本作家 津田櫓冬さん・梅田俊作さんの絵本展示および絵本の読み聞かせ。
- 久美浜の昔話を遊びで楽しめるアトラクションや作家たちが制作した久美浜土産品の販売、農産物マルシェ、刺繍ワークショップ

完了

⑤ ウィーン冬期音楽講習会 参加

- ウィーン冬期音楽講習会への参加
- 講習会参加の報告・演奏会の開催



完了

⑥ 丹後から能楽師プロジェクト イチから教わる能楽（初級・中級）

未完了

- 講師に観世喜正氏を招き能楽の指導を受ける。期間中計 1 1 回。
- 子どもの能の上演を目指し、これまでプロのシテ方が演じていたところをプロと子どもが共演し 1 つの曲を完成させる。
- 市内小学校に能楽師が出向く「出前授業」を実施する。

⑦ 「Dr.谷 ひと粒の麦」絵本作成

未完了

- アフリカのニジュールで医療活動に生涯をささげた谷垣雄三医師の功績をまとめた絵本を作成し、市内の小中学校に寄贈する。

⑧ 子どもが能を学ぶプロジェクト

未完了

- 能楽師及び地域の子どもたちによる能の講演・ワークショップ（9/8アグリセンター大宮）
- 能楽師によるワークショップの開催（大宮南小、大宮第一小、峰山高校）

⑨ 夜灯りこまねこ狂言会

未完了

- オリジナル狂言を鑑賞する狂言会の開催
- 子どもたちを対象とした狂言体験講座の開催

⑩ 丹後活性化プロジェクト

未完了

- 8月「恐丹後お化け屋敷」の開催
- 11月「丹後活性化プレゼンテーション大会」「緑風祭」の開催
- 2月「美書展」の開催

⑪ アーティストがあたりまえにいるまち+（プラス）

未完了

- 「震災」「教育」「メディア」をキーワードにアーティストを迎え、ワークショップを開催する。
- 12月第1回、1月第2回、2月第3回

⑫ 京丹後とカンボジアを繋ぐグローバル人材交流プロジェクト

完了

- カンボジア・ポイペトを訪問するスタディツアーを開催する。
- ツアー参加後のワークショップの開催
- カンボジアコラボ商品販売会の開催



⑬ 「こまねこ」が未来を担う子供たちへ、ふるさとへの想いを育むプロジェクト

- 「こまねこ」コマ撮り撮影ワークショップの開催
- 「はじめてのおさいほう」ワークショップの開催
- 「こまねこ」映画鑑賞会の開催



完了

⑭ みんなでつくるマップで五箇の自慢を再発見事業

- 五箇地区のマップを作るワークショップの開催
- 活動報告会の開催

未完了

⑮ カンボジアのスタジアム視察と異文化交流で価値観を広げよう！


- カンボジアのスタジアム視察
- カンボジアのサッカーチームとの練習試合、異文化交流

未完了

⑯ 地域スポーツ振興 モルックイベントの開催

- 飲食店なども誘致したモルック体験会イベントの開催
- モルック大会の開催

未完了

分野	その他	担当部署	市長公室 政策企画課	執行予定額 (基金充当予定額)	550千円 (550千円)
目的	<p>令和3年度に一般社団法人Sustainable Gameとの間で締結した包括連携協定に基づき、SDGsの達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的として、中学校、高等学校等におけるESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援や社会問題に関心のある将来世代を本市へ呼び込む企画など、「若者活躍の聖地」を目指した取組を推進する。</p>				
事業概要・主な経費	<p>○事業概要</p> <p>市外中高生との交流プログラム SDGsに関心のある市外の中高生と市内中高生の交流プログラム。活動事例の発表、ワークショップ等。 ↳開催時期：2月 ↳対象：京都府立丹後緑風高校久美浜学舎</p> <p>○主な経費 コーディネート業務委託料 550千円</p> <p>※一般社団法人Sustainable Gameとは 2020年に高校生により設立され、全国の現役中高生で構成される法人。SDGsの普及や未成年の社会参画の促進を目的としたイベントやコミュニティ運営などの事業を展開し、これまで大企業等40社以上の企業と連携・協業されています。</p>				

分野	教育ほか	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	執行予定額 (基金充当予定額)	2,040千円 (2,040千円)
目的	<p>令和3年4月から京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）で全国部活動特別入学選抜が実施された。このため、京都府外の遠方から入学する生徒の下宿等（下宿、寮及びアパート等）に係る経済的負担を軽減するため、当該経費の一部を支援することで生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び市内の高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的とする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 下宿等の賃料（共益費、食費、光熱水費、生活雑費、修繕その他の居住の維持に関する経費を除く。）を補助対象経費とし、2分の1以内の額とする。ただし、月額2万円を限度とする。 また、交付は年3回、4箇所ごと（4月から7月分、8月から11月分、12月から翌年3月分）とし、期間は、高等学校の正規の修業年限である入学後3年以内とする。</p> <p>【対象者の要件】 (1) 京都府外の都道府県からの入学生徒の保護者に支援する。 (2) 入学後、生徒は京丹後市の住民基本台帳に登録され、現に居住し、就学すること。 (3) 入学後、生徒は指定された部活動（レスリング部）に加入すること。 また、申請時には、学校長の証明を添えること。 (4) 令和6年度の募集人員は、6人以内とする。</p>				
<p>【対象者の状況】 (1) 令和4年度入学生 5人 (2) 令和5年度入学生 5人 (3) 令和6年度入学生 2人 計12人</p> <p>【支援の内容（見込み）】 下宿等の賃貸料 (月額3万円×1/2) ×12月×11人 (月額3万円×1/2) ×4月×1人</p>			<p>成果・課題 全国募集入学生として、府外（関東、中部、近畿、中国地方）から11人が在学（1人は8月に転校）しており、令和6年度のレスリング大会出場実績（R6.12時点）府下大会6大会出場（通算40人）、近畿大会1大会出場（6人）、全国大会7大会出場（通算16人）があり、活躍している。 また、週2回、網野学舎において小中学生のレスリング・ジュニアチームを補助員として指導しており、地域貢献にも寄与している。</p>		

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	執行予定額 (基金充当予定額)	2,385千円 (2,385千円)	
目的	令和6年8月頃から事業を実施開始。低所得子育て世帯（住民税非課税世帯）のこどもの学習機会を確保するため、受験料の補助を行うことで、大学等進学に向けた支援を行うことを目的とする。					
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 学校教育法に規定する大学、短期大学、専門職大学、専修学校(専門課程又は一般課程に限る。)、各種学校（同報第1条、第124条、第134条）を受検する方の保護者を対象に受験料（大学等を受験する際に必要な費用（受験料））を一人53,000円を上限に補助する。</p> <p>【対象の要件】 申請年度の末日において20歳未満の受験生の保護者等で、下記①～④のいずれにも該当すること ①受験生及び保護者等が同一の世帯に属していること ②申請年度において、世帯を構成する者のいずれもが住民税非課税である世帯であること ③世帯を構成する者のいずれもが本市に納入すべき市税等を滞納していないこと ④申請日において1年以上継続して京丹後市の住民基本台帳に記録されていること</p> <p>【対象者の状況】 令和6年度認定者：1名（1名非該当）※R6.12.31時点</p> <p>【支援の内容の見込み】 大学等受験料 53,000円×5人程度</p>			成果・課題	<p>・市内の高等学校3校に対して、高校3年生の人数分チラシを配布し、校長に制度周知を依頼したり、FMたんごや広報京丹後、LINE等でも広報を行い、制度周知に努めた。その結果、本事業について数件問い合わせがある等、ある程度の効果があった。</p> <p>・現時点が1月のため、今後申請がある可能性が高いが、認定者が1名しかいないため、更なる制度周知を行う必要がある。</p>	

No7 第4回京丹後市民陸上記録会

中間報告様式

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	300千円 (238千円)
目的	スポーツの基礎となる陸上競技の機会の提供、また、市民のスポーツ実施率向上、健康づくり及び体力づくりの向上、市のスポーツ振興に寄与することを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○主催 京丹後市・京丹後市教育委員会・一般財団法人京都陸上競技協会</p> <p>○主管 北丹陸上競技協会</p> <p>○日時 令和6年6月30日(日)</p> <p>○会場 峰山途中ヶ丘公園 京丹後はごろも陸上競技場</p> <p>○参加資格 (1) 小学生以上で、京丹後市に在住・在勤であること。 (2) 車いす競技は、健常者であっても出場することができる。</p> <p>○種目 (1) 一般競技の部(10種目・男女別) 60m、100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投、ジャベリックボール投 (2) 公認競技の部(8種目・男女別) 100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投 (3) 車いす競技の部 ※申し込みなく実施なし</p>			 <p>市民陸上記録会の様子</p>	
	<p>○参加者 130名</p> <p>○参加料 小人：無料 大人(18歳以上)：500円</p> <p>○歳入 参加料：18,500円(500円×37人)</p> <p>○歳出 委託料：299,950円</p>	成果・課題	<p>4回目の開催で110人のエントリーがあった。一般競技の部と今年度新設された公認競技の部を開催し、市民の健康・体力づくりのきっかけづくりとして市のスポーツ振興に寄与することができた。</p> <p>昨年度大会よりもエントリー数が減少したこともあり、開催時期の検討や、より一層の周知活動を行い参加者増加を図り、市民のスポーツ実施率の向上のきっかけとなるよう努める。 15</p>		

参加者数

(人数)

一般・高校		中学		小学		参加数合計	
男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
14	4	10	14	40	28	64	46

種目別エントリー数

(人数)

公認競技の部	一般・高校		中学		小学		種目別合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
100m	5	1	7	7	-	-	12	8
800m	0	0	1	2	-	-	1	2
1500m	0	0	1	3	-	-	1	3
3000m	0	0	1	0	-	-	1	0
走幅跳	2	2	1	2	-	-	3	4
砲丸投	0	0	1	3	-	-	1	3
やり投	0	0	-	-	-	-	0	0
性別合計	7	3	12	17	0	0	19	20
種別合計	10		29		0			
総計			39					

(チーム数)

公認競技の部	一般・高校		中学		小学		種目別合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4×100mR	0	0	1	3	-	-	1	3

(人数)

一般競技の部	一般・高校		中学		小学		種目別合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
60m	2	0	0	0	12	14	14	14
100m	1	1	0	0	24	14	25	15
800m	1	0	0	0	16	6	17	6
1500m	2	0	0	0	-	-	2	0
3000m	3	0	0	0	-	-	3	0
走幅跳	2	0	0	0	5	9	7	9
砲丸投	0	1	0	0	-	-	0	1
やり投	2	0	-	-	-	-	2	0
ジャベリックボール投	-	-	-	-	10	3	10	3
性別合計	13	2	0	0	67	46	80	48
種別合計	15		0		113			
総計			128					

(チーム数)

一般競技の部	一般・高校		中学		小学		種目別合計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4×100mR	0	0	0	0	5	3	5	3
男女混合4×100mR		0		0		1		1

参考資料：第4回京丹後市民陸上記録会
参加者数とその内訳

No8 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業

分野	文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	執行予定額 (基金充当予定額)	3,873千円 (2,537千円) ※内追加分1,000千円
----	----	------	-------------------	--------------------	--------------------------------------

目的

本市文化芸術振興条例に基づき策定した「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しみ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす“日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ～』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民が文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。

事業概要・主な経費

1「京丹後アートフェスティバル2024」の開催
市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するため、一定期間をフェスティバルとして開催する。昨年度に増して、創作体験の機会を充実させるため、まちなかアートマルシェを催し、誰もが自由にダンスや音楽などに触れられる場をつくる。
■事業費1,441千円（基金充当予定額721千円）
・「みるプログラム」815千円（需用費（印刷製本費）798千円ほか）
・「知るプログラム」425千円（報償費（講師謝金）270千円ほか）
・「まちなかアートマルシェ」201千円（役務費（楽器運搬手数料）65千円ほか）

2 落語会・落語体験塾の開催
市内中学生を対象に、本物の文化芸術に触れる体験塾を開催し、将来の文化芸術分野を担う人材育成に寄与するとともに、市民には、本物の文化芸術を体感できる機会を提供し、「文化芸術を楽しむまち」に繋げる。
■事業費1,232千円（基金充当予定額616千円）
・落語体験塾：市内中学校3校を対象に、本物の落語家による体験塾（ワークショップ）を2日間にわたり開催
・落語三人会：本物の落語家による落語会の開催（会場：アグリセンター大宮）

3 丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金（基金充当予定額200千円）
障害がある方たちへの市民の理解醸成といきいき暮らせるまちづくりにつなげることを目的に、障害がある方の絵画等アート作品を市内各所で展示する「TANGOまるっぽ美術館」を開催する同実行委員会に対し経費に対し助成する。
■補助金200千円（対象経費内訳：画用紙購入費25千円、イーゼル購入45千円、会場費30千円、周知チラシ作成60千円、消耗品費10千円、作品謝礼30千円）

4 京丹後市市制20周年記念文化公演実行委員会補助金（基金充当予定額1,000千円）
京丹後市市制20周年記念文化公演として、同実行委員会が「丹後能」及び「田中彩子デビュー10周年記念リサイタル」を開催するにあたり、補助金を交付する。
■補助金1,000千円（対象経費内訳：旅費交通費1,221千円、委託費6,712千円ほか）



京丹後アートフェスティバル2024



落語体験塾



TANGOまるっぽ美術館



京丹後市市制20周年記念文化公演

成果・課題

1「京丹後アートフェスティバル2024」では会期中、市内で文化芸術事業を行う個人や団体、34団体56事業と連携した。（来場者数は現在集計中。昨年度は約20,000人）
2「落語体験塾」は市内3中学校の全校生徒（約390名）を対象に実施した。「落語三人会」には市内外から204名が来場した。
3丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会による「TANGOまるっぽ美術館」は、丹後エリア7か所で展示を行い、約700人が来場した。
4「丹後能」は562名が来場。「田中彩子デビュー10周年記念リサイタル」は420名が来場。ともに会場は京都府丹後文化会館で実施した。